

『夏やすみお弁当配達体験』

お年寄りにお弁当を届けよう



7月27日から8月3日にかけて、小学生を対象に、『夏やすみお弁当配達体験』が計6回行われました。

この事業は、地域全体で安心、安全な生活ができる地域を目指し、子どもたちに見守りのために行われたもので、子どもたちは3班に分かれ、町内のお年寄りの自宅を訪問し元気に挨拶をして、夕食のお弁当を届けました。

8月1日 国保診療所

入院病床と救急外来の再開



8月1日、町立国保診療所の入院病床と休日・夜間における救急外来の受入を再開しました。

平成27年12月以来の再開となり、当日、鳴海町長より診療所職員に対し、「再スタートを切った診療所を1日も早く軌道に乗せて、町民に愛され、利用されることが重要だと考えているので、理解と協力をお願いしたい」と訓示しました。

北海道の伝統行事

ろうそくだせ!2018



8月3日、新冠町青年団体連絡会議主催による、北海道の伝統的な七夕行事『ろうそくだせ!2018』が行われました。

この事業は、楽しい夏休みの思い出の提供を目的とした青年活動のひとつで、参加した112名の子どもたちは、レ・コールド館で七夕の歴史を学んだ後、青年有志28名の引率のもと、10班に分かれ、はやし歌を歌いながら町内を歩きました。商工会青年部加盟の20事業所から、袋に入りきらないほどのお菓子を受け取り、楽しい時間を過ごしました。

イベント盛りだくさん!!

『第3回えましままつり』



8月4日、字本町のサポーターセンター「えましま」で『第3回えましままつり』が開かれました。

当日は、町内産の豚肉の無料提供や地元食材を購入できる露店などが設けられた他、管内のダンスサークルのパフォーマンスや演歌・民謡ステージ、ホロシリ牛乳早飲み大会など、多彩なイベントが行われ、会場は多くの人で賑わい、大盛況に終了しました。

古希のそば職人

『三浦和春』手打ちそばを振舞う



8月8日、あいあい荘に『三浦和春』さんが訪れ、入所者へ手打ちそばを振る舞いました。

これは、5月中旬から10月中旬の5カ月間、そば職人『三浦和春』さんが徒歩により北海道1周に挑戦し、その際に、福祉施設などで手打ちそばを提供し、交流を図ることを目的に行われているもので、入所者の方々は、そば打ち体験をした後、手打ちそばをみんなでおいしくいただきました。

ま ち の 話 題

あれこれ

夏の終わりの思い出づくり

『第8回おうるの郷夏祭り』



8月25日、社会福祉法人ふくろう会「おうるの郷」で第8回目となる夏祭りが開かれ、入所者や家族、地域住民の大勢の方が集まり、楽しいひと時を過ごしました。

お祭りの会場となった体育館には、茶の湯コーナー、おもちゃのくじ引きなどの縁日コーナー、食事や野菜を販売する出店が並び、ステージでは、よさこい踊りやひよっこ踊り、マンドリン演奏などが披露され、地域の住民や家族連れなどの多くの人たちが『おうるの郷夏祭り』を楽しみました。

大勢の子どもたちや帰省者で

賑わったふるさと盆踊り



8月11日、新冠町青年団体連絡会議主催『にいかつぷふるさと盆踊り2018』が役場駐車場で行われました。

早々から浴衣姿の子どもたちが訪れ、露店や青年団体からの子供向けイベントで盛り上がった後、会場には新冠音頭や北海盆唄が流れ、子どもからお年寄りまで沢山の方が、やぐらを囲み笑顔で踊り、新冠の短い夏を楽しみました。

にいかつぷ地場産品即売会

帰省客と観光客らで賑わう



8月11日・12日の2日間、にいかつぷ観光協会が主催する今年度第2回目となる『にいかつぷ地場産品即売会』が道の駅で開かれました。

会場は、販売開始時間前から行列ができてはじけ、アスパラなどの採れたての野菜、海産物、乳製品やスイーツなどの商品が並び、町内外から訪れた大勢の来場者が新冠の旬の食材を買い求めました。

初めての楽器・音色に大はしゃぎ

『札幌NKミュージックコンサート』



8月30日、こども園ド・レ・ミで『札幌NKミュージックコンサート』が行われました。

この事業は、子どもたちに音楽への興味、関心をもってもらおうと行われたもので、子どもたちからは、見たことも、聞いたこともない楽器の音色に歓声が沸き起こり、最後はマラカスをみんなで持ち、リズムに合わせて、演奏を楽しみました。

第44回新冠町老人クラブ

連合会スポーツ大会



8月31日、スポーツセンターで新冠町老人クラブ連合会主催によるスポーツ大会が開かれました。

約140名の選手団は、選手宣誓を行い、入念な準備体操をした後、紅白のチームに分かれ10種目の競技に挑みました。

大会は最終種目の玉入れで紅組が大逆転勝利し、大きな歓声の中、選手たちはアジア大会に負けない熱戦を繰り広げました。